

私の家族は父、母、兄、妹、私の5人です。妹はあと1カ月で中学受験です。二人でいる時は、大体遊んでいるか、けんかしているかのどちらかですが、今は学校がない日は朝から晩まで塾にいます。塾がない日に妹に私が「勉強しなよ」と言ったら大体けんかがはじまります。兄と私が中学受験をしている中、妹が一番、頭がいいのに一番勉強していません。もっとやればできるようになるのにといい、つい言ってしまいますがけんかになるだけです。本当にあせりが見られないし、本当に心配でした。しかし、ある日、うちで見たことのない厚いメモ帳が、妹の洋服タンスから出てきました。妹に「これ何？」と聞くと、見ないでと言われましたが、見たかったので見ました。すぐにうばい取られましたが、チラリと見たのは“勉強しないと”などの言葉が一枚一枚に書いてありました。そこで妹は妹なりにあせっているのだなと思い、反省しました。兄と私は6年離れていますが、私が中学受験の時、私に何にも言ってなかったと言います。絶対、言っていたと思いましたが、思い返してみると、記憶には特にありませんでした。六年も離れていると人の気持ちを考えられるのかなと思いました。私が妹にガミガミ言ったからと言って妹が変わるわけではないと思いました。私が妹にできることはサポートだけだと分かりました。私の習い事の先生は、先生ができる事は教える事のサポートだけ。やるのは自分自身だと良く言っています。私はそこで妹が楽しめそうな遊び心で勉強できるものを考えました。問題を出してあっていたら、シールがたまり、シールがたまれば好きな事ができたりするというものです。それを妹にわたしたらすごく喜んでさっそく、勉強してくれました。その時、私はすごくうれしく、ガミガミ言うのではなく、違う方法でサポートしていけばいいのだなと思いました。いつも何にも考えず、思ったままに言葉をはき出すのではなく、いったん考えてから言葉にし、強くあたらないようにしようと思うとともに、人が変わることを願うのではなく、自分から変わっていこうと思いました。

私が変わっていかなければいけないのは父と母に対してでも同じです。二人ともいつも夜遅くに帰ってきて母はそれからごはんを作り家事をします。私が夜遅くに寝ることが増えてきて分かったことは母が夜の一時ごろに寝ているということです。いつも何でもかんでもやってもらっていて迷惑をかけています。仕事をして帰ってきて、すぐにごはんを作り、家事という仕事をして、ずっと働いて本当に大変なことをしていると最近になって気づきました。百パーセント支えられている立場から少しでも母を支えられる立場へと変わればよいなと考えました。最近は掃除など自分でできることはするようにしています。しかし、これまで全て母にやってもらっていたことの手伝いをしようと思った時にやっと実感しました。何をやろうとしてもどうやってやるのか分からず、できるのは簡単な掃除くらいでした。これまで全部を分からないで済ませたり、一人でいる時は火を使ってはいけないと言われていたからなど言い訳ばかりしていてこの年になって何も分からない自分が恥ずかしくなりました。これからは自分を自分から積極的に変えていこうと思いました。